

第7話：「再起への道（前編）」
(全10ページ想定)

> **概要**

- > 第6話までで鹿島の裏切りが決定的となり、チームは崩壊寸前。
- > **第7話**からは「再起」の物語が始まる。失踪した鹿島の行方、CIPHERのCIA時代の秘密、月城の支えによってチームが再結末の可能性を探る。
- > 同時にオルビス・インディア側でも内紛や派閥対立が活性化し、国家レベルの陰謀が本格化。
- > 物語中盤の山場として、主人公側と敵側が大きな転機を迎えるエピソードになる。

Page 1

Number of panels: 3コマ想定

Page Story (概要)

- **場面**: 前話ラストから数日後。チームは鹿島不在のまま疲弊。橘・白石が過労気味、社内のムードは最悪。
- **目的**: 「裏切り」からしばらく経過し、戦意喪失に近い状態を冒頭で描く。

Image Prompt (Page 1)

`morning in the office, tired and demoralized team members, sense of emptiness, anime style`

Panel 1

- **ネーム**:

1. **構図**: オフィスフロア。席は埋まっているが、重い空気。橘と白石はやつれ気味。
2. **セリフ**:
 - **白石（ため息）**: 「まだ鹿島さんから何も連絡ないんだね…」
 - **橘（やつれ）**: 「ああ…プロジェクトは滞ったままでクレームも絶えないし…」

Panel 2

- **ネーム**:

1. **構図**: 月城が2人に声をかけ、穏やかに微笑むが内心は苦しそう。
2. **セリフ**:
 - **月城**: 「今は目の前の案件を確実に進めるしかないわ。少しずつでも立て直しましょう。」
 - **白石（微弱に）**: 「…はい。」

Panel 3

- **ネーム**:

1. **構図**: CIPHERが遠巻きに見ている。表情は陰しい。
2. **セリフ**:
 - **CIPHER（心の声）**: 「（このままじゃ、組織の思うツボか…何とかしなければ…）」

Page 2

Number of panels: 3コマ想定

Page Story (概要)

- **場面**: CIPHERが「ある人物」に連絡を取るシーン。CIA時代の同僚か、もしくは別の国際セキュリティ関連者。
- **目的**: CIPHERが本腰で鹿島救出および組織の陰謀阻止に動き始めるきっかけを提示。

Image Prompt (Page 2)

`quiet office corner or phone booth, male leader making a covert call, mention of cia past, anime style coloring`

Panel 1

- **ネーム**:
 - 1. **構図**：CIPHERが電話ブースで海外に電話。
 - 2. **セリフ**:
 - **CIPHER**：「…久しぶりだな。悪いが助けが要る。日本で“オルビス・インシディア” が動いてる。」
 - **謎の相手（英語混じり）**：「…了解した。君が動くとなれば相当ヤバい状況だろう。」

Panel 2

- **ネーム**:
 - 1. **構図**：相手のシルエットがCIAっぽいロゴのチラ見せ。
 - 2. **セリフ**:
 - **CIPHER（静かに）**：「こちらには家族を脅されている仲間がいる。放っておけない。できるだけ早く情報をくれ。」
 - **謎の相手**：「わかった。すぐに動く…But be careful, old friend.」

Panel 3

- **ネーム**:
 - 1. **構図**：CIPHERが受話器を置き、決意の表情。
 - 2. **セリフ**:
 - **CIPHER（心の声）**：「CIA時代のコネを使うのは気が進まないが…もう選択肢はない。鹿島と家族を救うためなら…」

Page 3

Number of panels：3コマ想定

Page Story（概要）

- **場面**：月城と2人の新人が打ち合わせ中。CIPHERが入ってきて「鹿島を取り戻す手段があるかもしれない」と話す。
- **目的**：チーム再結末の希望を示す導入。新人たちの表情が少し明るくなる。

Image Prompt（Page 3）

`office mini-meeting with three members, male leader enters with new hope, partial tension relief, anime style`

Panel 1

- **ネーム**:
 - 1. **構図**：月城が白石の報告を聞いている。橘がメモを取る。
 - 2. **セリフ**:
 - **白石**：「クライアントからは引き続き苦情が来てますが、何とか作業は進めてます…」
 - **月城**：「ありがとう。もう少し踏ん張りましょう。」

Panel 2

- **ネーム**:
 - 1. **構図**：CIPHERが部屋に入る。
 - 2. **セリフ**:
 - **CIPHER**：「少し朗報がある。CIA時代の知り合いが協力してくれることになった。」
 - **橘（身を乗り出す）**：「ホントですか！？ 鹿島さんを救えるんですか？」

Panel 3

- **ネーム**:
 - 1. **構図**：CIPHERが大まかに作戦を語るが、まだ細部不明。
 - 2. **セリフ**:
 - **CIPHER**：「まだ詳細は言えないが、“奴ら”の動向を掴めるかもしれない。鹿島の居場所も分かるかも。」
 - **白石**：「よかった…これで希望が…！」

Page 4

****Number of panels****: 3コマ想定

**Page Story (概要)**

- ****場面****: 鹿島がオルビス・インシディア内でも立場が危うい状況に。リヒト派と周天慧（穏健派）が微妙に対立している様子が描かれる。
- ****目的****: 敵組織内部の不穏さを深化。鹿島がはみ出し者的存在で危うい位置にいることを示す。

**Image Prompt (Page 4)**

`shadowy meeting with multiple antagonists, mention of internal disagreement, male engineer feeling cornered, anime style`

**Panel 1**

- ****ネーム****:

1. ****構図****: リヒト、カトリーヌ、宗方がテーブル越しに鹿島を見下ろす。周天慧は少し離れたところで沈黙。
2. ****セリフ****:
 - ****リヒト****: 「君の情報提供は役に立っているが…もっと早く動いてくれないと困る。」
 - ****カトリーヌ（上品な口調）****: 「ビジネスはスピードが命よ。失敗は許されないわ。」

**Panel 2**

- ****ネーム****:

1. ****構図****: 周が鹿島に目を向ける。「申し訳ない」的視線？
2. ****セリフ****:
 - ****周（心の声）****: 「（この人…家族を人質に取られているだけに…）」
 - ****鹿島（自嘲）****: 「…わかっています。引き続き動きます。」

**Panel 3**

- ****ネーム****:

1. ****構図****: 宗方が冷酷にスマホを見せ、家族監視の映像か写真をちらつかせる。
2. ****セリフ****:
 - ****宗方****: 「忠誠を示してくださいね。ご家族の安全のためにも。」
 - ****鹿島（苦しい表情）****: 「……はい。」

**Page 5**

****Number of panels****: 3コマ想定

**Page Story (概要)**

- ****場面****: CIPHERと月城がCIAからの情報を得る。オルビス・インシディアの“Project ???”で日本のIT産業を壊滅させる計画があると判明。
- ****目的****: “国家レベルの陰謀”をさらに具体的に。チームが再び戦うモチベーションを得る。

**Image Prompt (Page 5)**

`office data analysis, mention of large scale infiltration project, male leader and female engineer reacting with shock, anime style`

**Panel 1**

- ****ネーム****:

1. ****構図****: CIPHERのPCに届く暗号化メール。月城が隣で覗く。
2. ****セリフ****:
 - ****CIPHER****: 「来たな…CIAの知り合いからの情報だ。」
 - ****月城****: 「どんな内容？」

**Panel 2**

- ****ネーム****:

1. ****構図****: メール本文に「Orbis Insidia: Project “Rainfall”」などコードネームが書かれ、日本のIT産業基盤破壊が目的と示唆。
2. ****セリフ****:
 - ****CIPHER****: 「“Rainfall”…日本の主要クラウド事業や官公庁システムを同時多発的に攻撃し、混乱を誘う計画らしい。」
 - ****月城****: 「そんな…最悪のシナリオね。」

Panel 3

- **ネーム**:

1. **構図**: 2人の表情に強い危機感。
2. **セリフ**:
 - **CIPHER**: 「もう時間がない。鹿島が鍵を握ってるのは間違いない…早く見つけて止めないと。」
 - **月城（決意）**: 「ええ、私たちのチームで必ず…！」

Page 6

Number of panels: 3コマ想定

Page Story (概要)

- **場面**: 橘と白石が「鹿島救出」のための具体的手段を模索。例えばSNSや友人ルートを探すが無成果。
- **目的**: 新人の必死な行動、しかし失敗。落ち込むが、次の手がかりへ繋がる展開を用意。

Image Prompt (Page 6)

`office environment, two newbies searching leads about missing colleague, partial desperation, anime style coloring`

Panel 1

- **ネーム**:

1. **構図**: 橘がSNS検索、白石が過去の鹿島の社員記録をチェック。
2. **セリフ**:
 - **白石**: 「鹿島さんの知人や友達に連絡してみたけど、誰も心当たりないって…」
 - **橘**: 「SNSの更新も止まってるとし、家族の方にも直接連絡ができない状況らしい…」

Panel 2

- **ネーム**:

1. **構図**: 2人が落ち込む。背景暗め。
2. **セリフ**:
 - **白石（項垂れ）**: 「もうどうしようもないのかな…」
 - **橘（くやしさ）**: 「鹿島さん…なんでこんなことに…」

Panel 3

- **ネーム**:

1. **構図**: CIPHERが2人に声をかけ、まだ希望はあると伝える雰囲気。
2. **セリフ**:
 - **CIPHER**: 「諦めるな。俺たちにはCIAの情報と…仲間を救おうという意志がある。」
 - **白石・橘（奮起）**: 「…はい…！」

Page 7

Number of panels: 3コマ想定

Page Story (概要)

- **場面**: 敵側でも鹿島が内部の機密に触れ、リヒト vs 周天慧の派閥争いを見かける。周が鹿島に「あなたは本当にこれでいいのか？」と問いかける場面。
- **目的**: 鹿島の苦悩をさらに揺さぶり、穏健派（周）の存在がキーになるかもと示唆。

Image Prompt (Page 7)

`enemy base or high-tech facility, male engineer overhearing conflict between leaders, female researcher (Zhou) questioning moral, anime style`

Panel 1

- **ネーム**:

- 1. **構図**: 鹿島が施設内を歩いていると、リヒトやカトリーヌが周と口論しているのを遠巻きに目撃。
- 2. **セリフ**:
 - **リヒト**: 「AIは支配の道具にすぎない。理想論なんて無駄だ。」
 - **周**: 「そんな…AIは人を助ける手段のはず…」

Panel 2

- **名前**:
 - 1. **構図**: リヒトが去り、周が鹿島に気づく。
 - 2. **セリフ**:
 - **周 (ため息)**: 「あなたも被害者なんでしょう？ それでも彼らに従うの？」
 - **鹿島 (困惑)**: 「…家族がいるんだ。俺には逆らう余裕なんて…」

Panel 3

- **名前**:
 - 1. **構図**: 周が「それでも止めたい」と思わせる表情。鹿島は戸惑い。
 - 2. **セリフ**:
 - **周**: 「私は、ここまで過激なやり方に賛成じゃない。でも止める術もない…あなたも同じか。」
 - **鹿島**: 「……」

Page 8
Number of panels: 3コマ想定

Page Story (概要)
- **場面**: 月城が新人2人を励ますシーン。絆の再確認。
- **目的**: チームの“再起”に向けて少しずつ気持ちを高めるエピソード。月城の存在意義を強調。

Image Prompt (Page 8)
`office break area, female engineer encouraging two younger colleagues, soft lighting, anime style`

Panel 1

- **名前**:
 - 1. **構図**: 休憩スペースでコーヒーを飲む3人（月城・橘・白石）。
 - 2. **セリフ**:
 - **月城**: 「疲れたら少し休憩して。体を壊したら何もできないわよ。」
 - **白石 (苦笑)**: 「はい…。ありがとうございます。」

Panel 2

- **名前**:
 - 1. **構図**: 橘が月城に率直に不安を吐露。
 - 2. **セリフ**:
 - **橘**: 「こんな状況で、僕たちに何ができるのか…鹿島さんを裏切り者扱いするのも辛いし…」
 - **月城 (優しい笑み)**: 「確かに、今は大変。でも私たちなら、きっと乗り越えられるわ。」

Panel 3

- **名前**:
 - 1. **構図**: 月城が二人の肩に手を置き、温かく包み込むイメージ。
 - 2. **セリフ**:
 - **月城**: 「鹿島くんが戻れる場所を守るのが私たちの仕事。絶対あきらめないで。」
 - **白石&橘**: 「……はい！」

Page 9

****Number of panels****: 3コマ想定

**Page Story (概要)**

- ****場面****: CIPHERがCIAから追加情報を入手。「オルビス・インディアが近々大規模攻撃を仕掛ける」という警告が届く。官公庁システムにもすでに侵入の兆候があると判明。
- ****目的****: 次回の大きなアクション（7～8話クライマックス）に備える。チームが再起動するスイッチとなる。

**Image Prompt (Page 9)**

`office at night, male leader reading urgent intel on laptop, dramatic lighting, anime style`

**Panel 1**

- ****ネーム****:
 1. ****構図****: CIPHERのPCに「URGENT: Japan Gov infiltration in progress」的メッセージ。
 2. ****セリフ****:
 - ****CIPHER (心の声)****: 「…やはり動きが早いか。鹿島の情報提供もあったんだろう…」

**Panel 2**

- ****ネーム****:
 1. ****構図****: 月城や新人たちも画面を覗き込み衝撃。
 2. ****セリフ****:
 - ****白石****: 「官公庁システムまで…これって日本全体が危ないじゃないですか！」
 - ****橘****: 「まさかこんなに早く…！」

**Panel 3**

- ****ネーム****:
 1. ****構図****: CIPHERが拳を握りしめて決意を示す。
 2. ****セリフ****:
 - ****CIPHER****: 「時間がない。俺たちがこの攻撃を止める…鹿島も救う。やるぞ…！」
 - ****月城・白石・橘 (一斉)****: 「はい…！」

**Page 10**

****Number of panels****: 3～4コマ想定

**Page Story (概要)**

- ****場面****: エピローグ。鹿島がオルビス・インディアの拠点で苦悩するシーン、そして主人公サイドが「鹿島奪還&国家攻撃阻止」のため動き出す構図。
- ****目的****: 第7話のクライマックス。次回（8話）で本格的な対決や再建が描かれる予感を高める。

**Image Prompt (Page 10)**

`split scene: protagonist team preparing a plan, male engineer at enemy base in despair, anime style`

**Panel 1**

- ****ネーム****:
 1. ****構図****: 鹿島が暗い部屋で家族の写真を握りしめ、涙をこぼす。
 2. ****セリフ****:
 - ****鹿島 (心の声)****: 「もう戻れない…ごめん、みんな…俺はこの道を進むしか…」

**Panel 2**

- ****ネーム****:
 1. ****構図****: CIPHERたちが作戦会議で地図やネットワーク図を広げる。
 2. ****セリフ****:
 - ****CIPHER****: 「官公庁システムへの攻撃は近い。鹿島がこちらにいるなら、内部から破壊行為を進められるかも…」
 - ****月城****: 「私たちで侵入を防がなくちゃ。橘、白石、準備いい？」
 - ****白石・橘 (決意)****: 「はい…！」

Panel 3 (optional 4コマ)

- **ネーム**:

1. **構図**: スプリット画面で主人公チームと鹿島を対比。
2. **セリフ**:
 - **モノローグ (ナレ)**: 「仲間を救いたい思いと、大きすぎる陰謀の歯車。2人の運命は再び交差する…次回、『再起への道 (後編)』へ——！」

第7話まとめ

- **チームが鹿島不在で壊滅状態に近いが、CIAコネや月城の支えで再起へのきっかけを得る**。
- **鹿島は組織に囚われながらも、穏健派の周天慧との会話で迷い続ける**。
- **次回 (第8話) **ではより本格的なアクション：官公庁DXへの攻撃阻止や鹿島奪還を巡る戦いが展開され、物語はクライマックスに近づいていく。

第8話：「再起への道 (後編)」
(全10ページ想定)

> **概要**

- > 第7話で再起を誓ったCIPHERたち。官公庁システムに迫る脅威**に対して動き出す一方、鹿島奪還作戦も計画される。
- > 敵組織の内紛 (リヒトと周天慧の対立) も激化し、主人公側と敵側が大きく衝突。
- > 最後に鹿島との再会 or 一時的接触があり、さらに国家陰謀の核心へ一歩踏み込む大団円となる中盤クライマックス。

Page 1

Number of panels: 3コマ想定

Page Story (概要)

- **場面**: 前回ラスト翌朝。CIPHERがメンバーに作戦概要を説明。官公庁システムへの攻撃時期が迫っている。
- **目的**: 8話のメイン課題「官公庁システムの防衛」「鹿島奪還」を提示し、チーム全員の意志を固める。

Image Prompt (Page 1)

`office meeting corner, male leader presenting a plan, sense of urgency, anime style`

Panel 1

- **ネーム**:

1. **構図**: 大型ディスプレイで官公庁システムの構成図を示すCIPHER。
2. **セリフ**:
 - **CIPHER**: 「今週中に大規模攻撃が仕掛けられる可能性が高い。鹿島が内部情報を渡した以上、相手は完璧に備えてくるだろう。」
 - **白石 (表情強張る)**: 「そんな…本当にこの短期間で…？」

Panel 2

- **ネーム**:

1. **構図**: 月城が実際のセキュリティ対策案を出す。
2. **セリフ**:
 - **月城**: 「官公庁ネットワークに“ゼロトラスト”の概念が取り入れられようとしているけど、まだ移行途中。そこを突かれたら大変。」
 - **橘**: 「急いで防壁を固めないと！」

Panel 3

- **ネーム**:

1. **構図**: CIPHERが画面を閉じ、唇を引き結ぶ。
2. **セリフ**:

- **CIPHER**：「もう一つ…鹿島の居場所も探る。家族も含めて、奴らの手から救い出さなきゃな。」
- **白石&橘（強い目）**：「やりましょう…！」

Page 2

Number of panels：3コマ想定

Page Story (概要)

- **場面**：オルビス・インシディア側。リヒトが官公庁DXの核心部分を狙う計画を進める。周天慧は相変わらず難色を示すが、それを押し切る形に。
- **目的**：敵組織の最終フェーズ開始。周と鹿島が微妙に連携する余地を匂わせる。

Image Prompt (Page 2)

`enemy base or high-tech conference room, multiple antagonists discussing final infiltration, tension, anime style`

Panel 1

- **名前**：
 1. **構図**：リヒトが巨大モニターに「Government System Access Plan」と書かれた資料を映す。
 2. **セリフ**：
 - **リヒト**：「クラウド認証基盤がまだ整備途中。そこを突けば一撃で麻痺させられる。」
 - **カトリヌ**：「投資家たちも興味を示してるわ。ぜひ成功させて。」

Panel 2

- **名前**：
 1. **構図**：周が渋い顔で反対。
 2. **セリフ**：
 - **周**：「そんなやり方、あまりにも危険すぎる…AIが無差別に利用されるかもしれない。」
 - **リヒト（冷笑）**：「おまえに意見を求めている。大義のためだ。」

Panel 3

- **名前**：
 1. **構図**：鹿島が黙り込むが、周と視線が交わる。
 2. **セリフ**：
 - **周（心の声）**：「（鹿島さん…このままじゃあなたも…）」
 - **鹿島（下を向いて）**：「……………」

Page 3

Number of panels：3コマ想定

Page Story (概要)

- **場面**：橘と白石が官公庁システムの下調べを開始。セキュリティ要件やネットワーク構成を学び、いつ攻撃されてもおかしくない現状を認識。
- **目的**：2人の成長&この攻防が大規模かつ時間がないことを印象付ける。

Image Prompt (Page 3)

`office environment, two young employees studying government system diagrams, partial urgency, anime style`

Panel 1

- **名前**：
 1. **構図**：大きなホワイトボードに官公庁ネットワーク図が描かれている。
 2. **セリフ**：
 - **白石**：「ここが認証サーバ、ここが各自治体のデータベース…全部つながってるんだ。」
 - **橘（目を丸く）**：「一度突破されたら広範囲の情報が抜かれる可能性が…」

Panel 2

- **ネーム**:

1. **構図**: 2人が真剣な表情でノートPCを操作。
2. **セリフ**:
 - **白石**: 「鹿島さんの裏切りで、この構成が敵に筒抜けってわけだよね…」
 - **橘（悔しそう）**: 「でも、どうしても彼を責める気になれない…」

Panel 3

- **ネーム**:

1. **構図**: 月城が通りかかり、「時間がない」と声をかける。
2. **セリフ**:
 - **月城**: 「残された時間はわずか。最悪の事態に備えて、対策を急ぎましょう。」
 - **白石&橘（頷く）**: 「はい…！」

Page 4

Number of panels: 3コマ想定

Page Story (概要)

- **場面**: 鹿島が周から密かに接触を受ける。周は「このままりヒトの計画が進むとAIも世界も壊れる」と警告し、鹿島に協力を求める。
- **目的**: 穏健派である周が動き出し、鹿島が「組織を裏切るか？ でも家族が…」という葛藤を再び強く抱く。

Image Prompt (Page 4)

`enemy facility corridor, female researcher confronting male engineer, tension and slight hope, anime style coloring`

Panel 1

- **ネーム**:

1. **構図**: 周が廊下で鹿島に声をかける。
2. **セリフ**:
 - **周**: 「鹿島さん…少し時間いいですか？」
 - **鹿島（振り向く）**: 「…なんだ？」

Panel 2

- **ネーム**:

1. **構図**: 周が必死の形相でAIの危険性やヒトの計画の過激さを訴える。
2. **セリフ**:
 - **周**: 「彼らが狙ってるのは日本のIT基盤だけじゃない。AIを暴走させて世界的な混乱を招く可能性があるわ。」
 - **鹿島（苦悩）**: 「でも…俺には家族が…」

Panel 3

- **ネーム**:

1. **構図**: 周が鹿島の腕を掴み、切実な表情。
2. **セリフ**:
 - **周**: 「あなたが本当に守りたいのは“家族”だけ？ あなたの仲間だっているはずでしょう？」
 - **鹿島（動揺）**: 「……」

Page 5

Number of panels: 3コマ想定

Page Story (概要)

- **場面**: CIPHERがCIAからの情報を元に、組織の拠点と官公庁ネットワーク攻撃が“明日”にも行われると判断。急ぎの対策会議を行う。
- **目的**: いよいよクライマックスへ。攻防戦の開始が近い。

Image Prompt (Page 5)

`office late evening, intense discussion about infiltration date, sense of final countdown, anime style`

Panel 1

- **ネーム**:

1. **構図**: CIPHERが画面に日付やタイムラインを表示。
2. **セリフ**:
 - **CIPHER**: 「CIAの情報では、明日深夜に攻撃を仕掛ける可能性が高い。官公庁システムの認証切り替えタイミングを狙うらしい。」
 - **橘（息を呑む）**: 「そんな…もう時間がない！」

Panel 2

- **ネーム**:

1. **構図**: 月城が具体的なセキュリティ強化の案を提示。ホワイトボードに手順を書き込む。
2. **セリフ**:
 - **月城**: 「私たちがサポートできる範囲でいいから、緊急パッチとアクセス制御の二重化を提案しましょう。夜通し作業かもだけど…」
 - **白石（気合）**: 「やりましょう…！」

Panel 3

- **ネーム**:

1. **構図**: CIPHERが「鹿島奪還」も頭にあるので複雑な表情。
2. **セリフ**:
 - **CIPHER（心の声）**: 「（鹿島…今どこに…？ もし敵の拠点にいるなら、そこへ踏み込む手段は…）」

Page 6

Number of panels: 3コマ想定

Page Story (概要)

- **場面**: 鹿島が周から暗に助言を受け、家族を救うには主人公チームの協力が必要だと悟り始める。
- **目的**: 鹿島の再起フラグ。読者に「鹿島がいつか帰ってくるかもしれない」と希望を示す。

Image Prompt (Page 6)

`enemy facility interior, female researcher quietly advising male engineer, subtle hope, anime style`

Panel 1

- **ネーム**:

1. **構図**: 周がAI研究ルームで鹿島を呼び寄せ、端末に何かを見せる。
2. **セリフ**:
 - **周**: 「これはあなたの会社の仲間たちかしら…？ 最近の動きを探ったら、彼らも必死にあなたを救おうとしているみたいよ。」
 - **鹿島（画面を見て動揺）**: 「…橘…白石…月城…CIPHER…」

Panel 2

- **ネーム**:

1. **構図**: 周が「共闘」を示唆。
2. **セリフ**:
 - **周**: 「本当に家族を守りたいなら、あなたの仲間と一緒に戦う方がいいと思わない？」
 - **鹿島（苦しさ）**: 「でも…もう取り返しがつかない…俺は情報卖了んだ…」

Panel 3

- **ネーム**:

1. **構図**: 周が鹿島の肩に手を置き、「手遅れじゃない」と微笑む。
2. **セリフ**:
 - **周**: 「まだ間に合うかもしれない。私も協力するから、一緒に止めよう…この危険な計画を。」

- **鹿島**：「……」

Page 7

Number of panels：3コマ想定

Page Story (概要)

- **場面**：攻撃前夜。主人公チームは官公庁DXのセキュリティ対策の最終仕上げ。緊迫した徹夜作業。
- **目的**：“前夜”演出で読者のテンションを高める。技術面でも新人たちが頑張る姿を描く。

Image Prompt (Page 7)

`nighttime office, intense coding and config setup, partial sweaty effort, anime style`

Panel 1

- **名前**：

1. **構図**：橋がサーバー設定を高速で打ち込む。白石は文書化や顧客連絡に走り回る。
2. **セリフ**：
 - **橋（焦りつつ）**：「ポート制御、認証プロトコル、全部片付けなきゃ…！」
 - **白石**：「外注のセキュリティ業者とも連携してます！SSOまわりは任せるって！」

Panel 2

- **名前**：

1. **構図**：月城が全体を見る。CIPHERは別室で情報収集？
2. **セリフ**：
 - **月城**：「時間との勝負ね。体力が限界かもしれないけど、もう少し…」
 - **白石（気合）**：「大丈夫です…やりきります！」

Panel 3

- **名前**：

1. **構図**：CIPHERが戻ってきて「動きがあった」と伝える。
2. **セリフ**：
 - **CIPHER**：「敵側も今夜行動を起こす可能性が高い。準備を急げ。俺たちは現場に向かう。」
 - **橋・白石（驚き）**：「現場って…官公庁のサーバールームですか！？」

Page 8

Number of panels：3コマ想定

Page Story (概要)

- **場面**：鹿島が周の力を借りて家族の所在を確認しようとする。ギリギリのところで時間がないが、周は穏健派の立場を捨てて一部情報を漏えい。
- **目的**：鹿島救出フラグを強化し、周というキャラの友情・同情を際立たせる。

Image Prompt (Page 8)

`enemy base corridor or small room, female researcher showing data to male engineer, sense of urgency and quiet cooperation, anime style`

Panel 1

- **名前**：

1. **構図**：周が端末を操作し、家族の監視カメラ映像を一時的に遮断する？
2. **セリフ**：
 - **周**：「今だけならセキュリティを欺ける。家族は〇〇地区の安全ハウスにいるみたい。」
 - **鹿島（感動）**：「そ、そうか…ありがとう…！」

Panel 2

- **ネーム**:
 1. **構図**: 周が悲しげな笑み。
 2. **セリフ**:
 - **周**: 「私もこの組織の過激さには耐えられない。あなたが仲間と合流できるなら、少しは望みがあるかもしれない…」
 - **鹿島** (ぐっと涙目) **: 「周さん…どうしてそこまで…」

Panel 3

- **ネーム**:
 1. **構図**: 周が背を向け、「急いで」とだけ言って去る。
 2. **セリフ**:
 - **周**: 「私も自分の意思でここにいるわけじゃない。あなたには家族がいるでしょう？ 早く助けに行って。」
 - **鹿島**: 「……ありがとう…！」

Page 9

Number of panels: 3コマ想定

Page Story (概要)

- **場面**: 官公庁のサーバールーム周辺。CIPHER・橘・白石・月城が現地で最終チェックし、攻撃を待ち構える。夜間。
- **目的**: クライマックス直前の緊張感。チームが結束し始める。

Image Prompt (Page 9)

`government building server room, nighttime, small team on high alert, anime style lighting`

Panel 1

- **ネーム**:
 1. **構図**: 建物外観、夜景の中に厳戒態勢の入り口。
 2. **セリフ**:
 - **モノログ** (ナレ) **: 「深夜、官公庁のシステムを守るため、CIPHERたちは現地へ向かった…」

Panel 2

- **ネーム**:
 1. **構図**: 橘がサーバールームのIDカードを通して入室。白石と月城が追う。
 2. **セリフ**:
 - **橘** (緊張) **: 「アクセス制御を二重化しましたが、本当に防げるのか…」
 - **白石**: 「大丈夫、やるしかない！」

Panel 3

- **ネーム**:
 1. **構図**: CIPHERがリーダーシップを発揮。モニターにリアルタイムログを映す。
 2. **セリフ**:
 - **CIPHER**: 「今夜が山場だ。思いっきりやろう…鹿島も、ここに現れるかもしれない。」
 - **月城**: 「ええ、来るなら止めて、連れ戻すわ！」

Page 10

Number of panels: 3〜4コマ想定

Page Story (概要)

- **場面**: エピローグ。敵組織の攻撃準備シーンを描き、鹿島が“家族を救う”ために裏切りながらも悩む姿。そしていよいよ“対決が開始される”雰囲気です。8話が終わる。
- **目的**: 中盤の大クライマックスへ繋ぐ最終ページ。「次回は激突！」という期待感。

Image Prompt (Page 10)

`late night infiltration setup, multiple antagonists preparing cyber attack, male engineer in turmoil, anime style`

Panel 1

- **ネーム**:

1. **構図**: リヒトラがPC画面で官公庁ネットワークへの侵入口を確認。カウントダウン的演出。
2. **セリフ**:
 - **リヒト**: 「攻撃開始まであと数分…。皆、配置につけ。」
 - **カトリヌ**: 「はいはい、収益が楽しみね。」

Panel 2

- **ネーム**:

1. **構図**: 鹿島がキーボードを握りしめ、画面を見つめる。
2. **セリフ**:
 - **鹿島（心の声）**: 「家族は無事になるって言った…でも、本当にこれで…？」

Panel 3 (optional 4コマ)

- **ネーム**:

1. **構図**: CIPHERたちのモニターに「攻撃開始」の兆候が出るシーンとリンクさせる。
2. **セリフ**:
 - **モノローグ（ナレ）**: 「運命の夜が訪れる。
鹿島とCIPHERたち…その先に待つのは、絶望か希望か—— 次回へ続く…！」

第7話～第8話まとめ

- **第7話（前編）**: チームが壊滅状態を脱するために動き出し、CIAなど外部の協力を得る。鹿島は組織内で苦悩を深め、周天慧の存在で意志が揺れる。
- **第8話（後編）**: 国家の官公庁システムを巡る決戦前夜。チームは現地防衛へ向かい、敵組織も本格攻撃を開始。鹿島が家族と仲間の間で葛藤するシーンがハイライト。次回（9～10話）での最終決戦に繋がる大きなクライマックスへの布石が完了。

これで**第7・8話**のシナリオ案が完了です。次の**第9～10話**では最終決戦を描き、物語をクライマックスへ導きます。